

テストツール

C U n e t
デバイスドライバ

目 次

第 1 章 ボード選択

1-1 表示画面と各部概要	1-1
1-2 操作手順	1-1

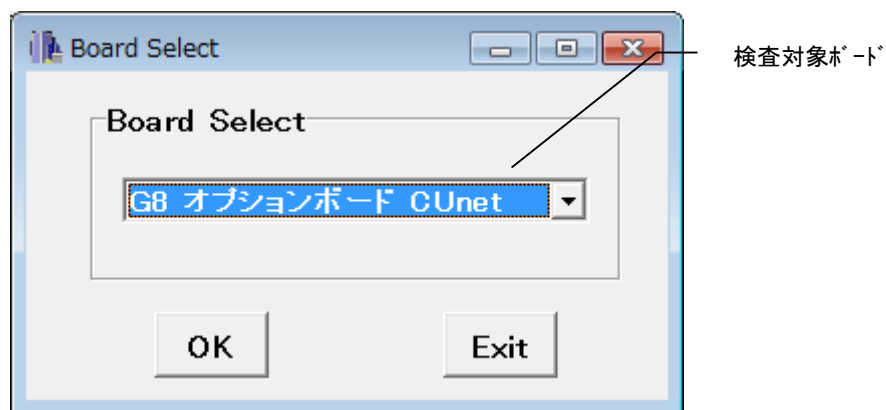
第 2 章 ドライバテストツール

2-1 表示画面と各部概要	2-1
2-2 操作手順	2-7

第 1 章 ボード選択

1-1 表示画面と各部概要

1-1-1 検査対象ボード選択画面



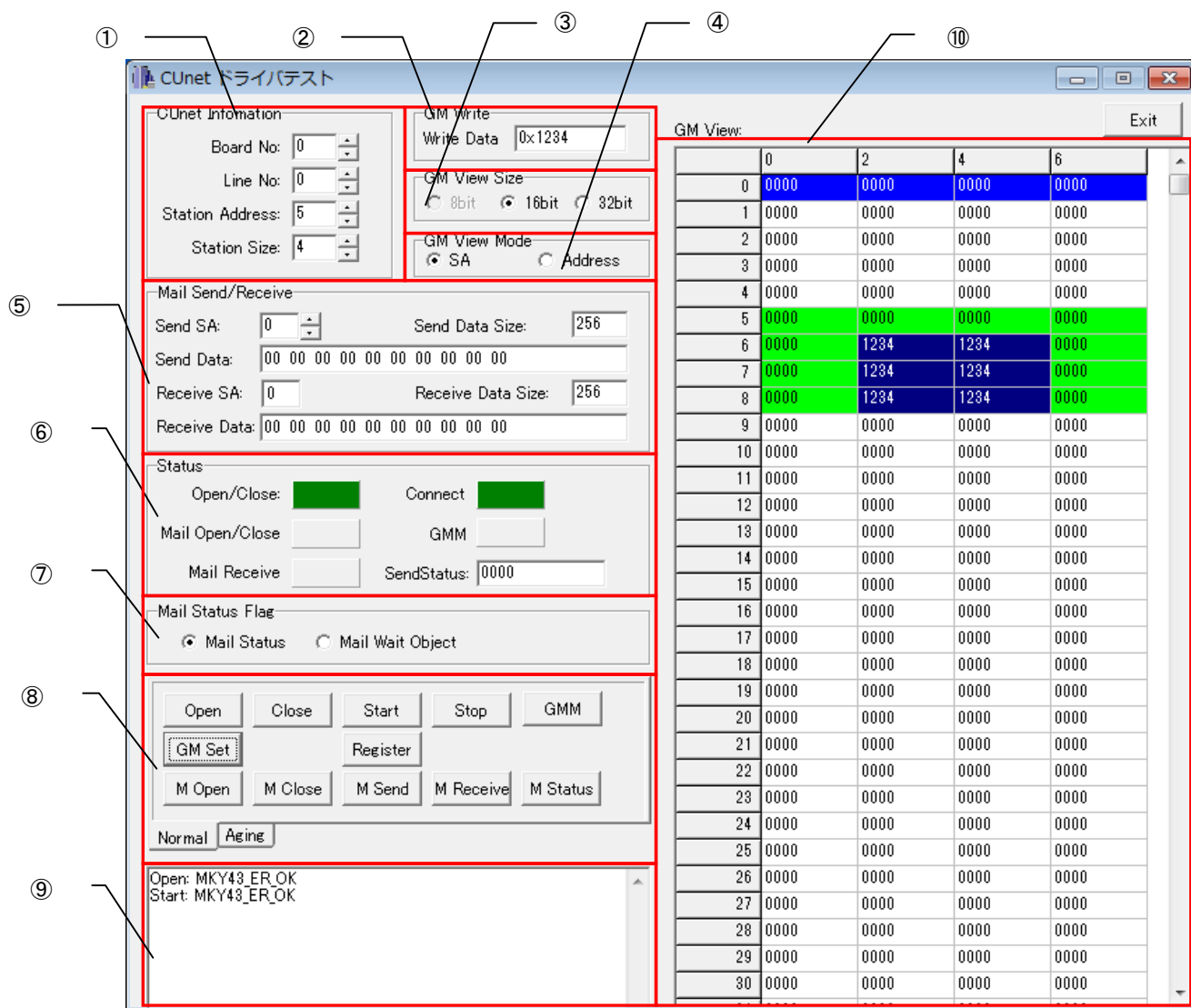
1-2 操作手順

- 1) ボード選択画面で目的の CUnet マスタを選択します。
- 2) [OK] ボタンをクリックすることで、メイン画面が表示されます。
- 3) 検査を終了するには、[Exit] ボタンをクリックします。

第2章 ドライバテストツール

2-1 表示画面と各部概要

2-1-1 メイン画面



- ① CUnet Information : CUnet の接続情報を表示します。
- Board No : CUnet のボード番号を指定します。(拡張基板では0 固定です)
 - Line No : CUnet のライン番号を指定します。(拡張基板では0 固定です)
 - Station Address : CUnet のステーションアドレスを指定します。
 - Station Size : CUnet のステーションサイズを指定します。

- ② GMWrite : グローバルメモリに書き込む WriteDate の設定を行います。
- ③ GM View Size : GM View の表示形式を設定します。
 8bit : GM View を 8bit 表示にします。
 16bit : GM View を 16bit 表示にします。
 32bit : GM View を 32bit 表示にします。
- ④ GM View Mode : GM View の表示形式を設定します。
 SA : GM View をステーションアドレス表示にします。
 Address : GM View をメモリ上のアドレス表示にします。
- ⑤ Mail Send/Receive : メールの送受信設定をします。
 Send SA : メールを送信するステーションアドレスを指定します。
 Send Data Size : 送信するメールデータのサイズを指定します。
 Send Data : 送信するメールのデータを指定します。
 テキストボックスをクリックするとメールデータエディタ画面を開きます。
 Receive SA : 受信したメールのステーションアドレスを表示します。
 Receive Data Size : 受信したメールのサイズを表示します。
 Receive Data : 受信したメールのデータを表示します。
 テキストボックスをクリックするとメールデータビュー画面を開きます。
- ⑥ Status : 各種ステータス情報を表示します。
 Open/Close : ボードがオープンしているかを表示します。
 灰 : Close 状態です。
 緑 : Open 状態です。
 Connect : 通信がスタートしているかを表示します。
 灰 : Stop 状態です。
 緑 : Start 状態です。
 Mail Open/Close : メールがオープンしているかを表示します。
 灰 : Close 状態です。
 緑 : Open 状態です。
 GMM : グローバルメモリモニタモードになっているかを表示します。
 灰 : 通常状態です。
 緑 : GMM 状態です。
 Mail Receive : メールが受信時に点灯します。
 灰 : メール待機中です。
 黄 : メールを受信しました。
 Send Status : メールステータスを表示します。
 0001 : メール送信完了
 0002 : 相手が Busy
 0004 : 相手局が不在
 0008 : タイムアウト
 0010 : メール転送中 RUN 停止
 0020 : メール着信不可
 0100 : 受信

- ⑦ Mail Status Flag : メールステータス更新方法を選択します。
Mail Status : メールステータスを定期的に更新します。
Mail Wait Object : メールステータスが変わったときにステータスを更新します。
- ⑧ Normal : 各種コマンドを発行します。
Open : ボードをオープンします。
Close : ボードをクローズします。
Start : 通信を開始します。
Stop : 通信を停止します。
GMM : GMM モードに移行します。
GM Set : GM View 上で選択状態になっている領域へ②で入力した値を書き込みます。
Register : レジスタ一覧画面を表示します。
M Open : メールをオープンします。
M Close : メールをクローズします。
M Send : メールを送信します。
M Reseive : メールを受信データを取得します。
M Status : メールステータスを取得します。
- ⑨ ログ表示 : 各種ログを表示します。
- ⑩ GM View : グローバルメモリの値を表示します。
緑 : 現在オープンしている自身の領域を表します。
青 : 現在オープンしているほかの領域を表します。
紺 : 現在選択している領域を表します。

2-1-2 レジスタ一覧画面

Register View:

Communication Control Register

RFR	00000000000001E0		
LFR	00000000000001E0		
MFR	00000000000001E1		
DRFR	0000000000000000		
LGR	0000000000000000	0x0000000000000000	Write
MGR	0000000000000000	0x0000000000000000	Write
DRCR	0000000000000000	0x0000000000000000	Write
CCTR	0107	0x0000	Write
UTCR	0000	0x0000	Write
QCR	0000	0x0000	Write
NFSR	0000	0x0000	Write
FSR	003F		
BCR	04C5	0x0000	Write
SSR	0000	0x0000	Write
SCR	033D	0x0000	Write
CCR	MKY43_v0		

Read/Write

Hazard Register

RHPB0	0000000000000000		
RHPB1	0000000000000000		
WHPB0	0000123412340000	0x0000000000000000	Write
WHPB1	0000000000000000	0x0000000000000000	Write

Mail Control Register

MSLR	1FFF	0x0000	Write
MSRR	0004		
MESR	0000	0x0000	Write
MSCR	0101	0x0000	Write
MR0CR	0000	0x0000	Write
MR1CR	0000	0x0000	Write

Int Control Register

INT0CR	0000	0x0000	Write
INT1CR	0000	0x0000	Write
IT0CR	0000	0x0000	Write
IT1CR	0000	0x0000	Write
INT0SR	0000	0x0000	Write
INT1SR	0000	0x0000	Write

RHCR0 0008 0x0000 Write

RHCR1 0000 0x0000 Write

WHCR0 0008 0x0000 Write

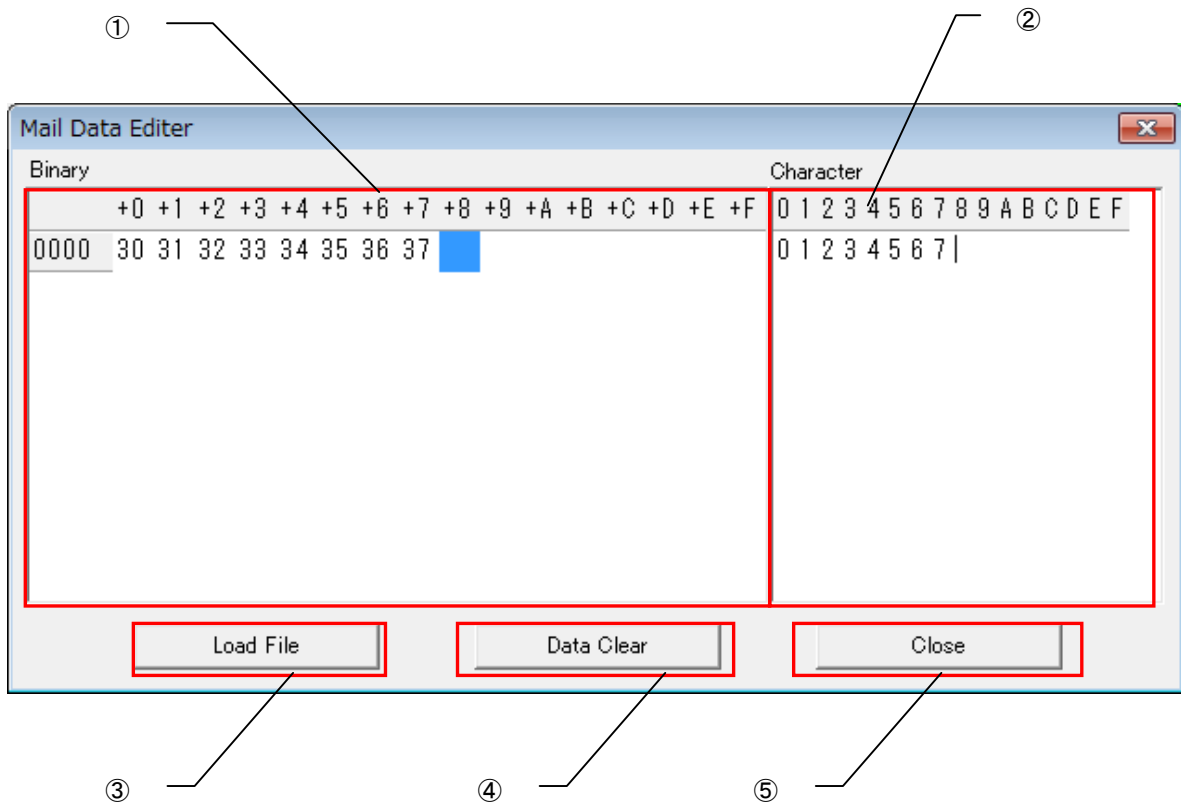
WHCR1 0000 0x0000 Write

Close

- ① 現在のレジスタ値 : 現在のレジスタ値をモニタします。
- ② レジスタへ書き込む値 : レジスタへ設定する値を入力します。
- ③ Write : ②で入力した値を書き込みます。
- ④ Close : 画面を閉じます。

2-1-3 メールデータエディタ画面

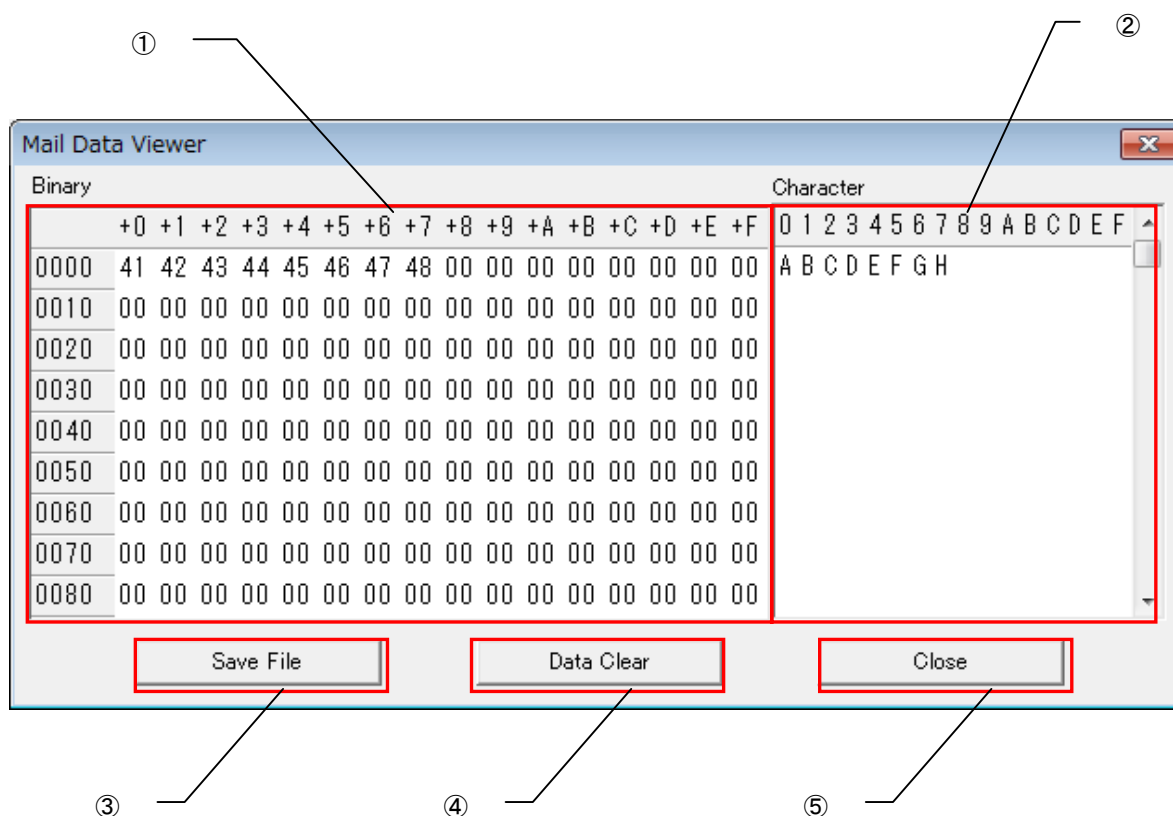
メールデータエディタ画面では送信するメールデータを編集できます。
メイン画面の「Mail Send/Receive」の「Send Data」のテキストボックスをクリックすることで表示されます。



- ① 送信データ (16 進) : 送信するメールデータを 16 進数で表示します。
- ② 送信データ (ASCII) : 送信するメールデータを ASCII で表示します。
- ③ Save File : ①と②に表示しているメールデータをファイルから読み込みます。
- ④ Data Clear : ①と②に表示しているメールデータをクリアします。
- ⑤ Close : メールデータエディタ画面を閉じます。

2-1-4 メールデータビューワ画面

メールデータビューワ画面では受信したメールデータが表示されます。
メイン画面の「Mail Send/Receive」の「Receive Data」のテキストボックスをクリックすることで表示されます。



- ① 送信データ(16進) : 受信したメールデータを16進数で表示します。
- ② 送信データ(ASCII) : 受信したメールデータをASCIIで表示します。
- ③ Save File : ①と②に表示しているメールデータをファイルへ保存します。
- ④ Data Clear : ①と②に表示しているメールデータをクリアします。
- ⑤ Close : メールデータビューワ画面を閉じます。

2-2 操作手順

- 1) 検査対象の CUnet が通信できるように設定して下さい。
(検査対象以外に別の CUnet が必要です)
- 2) 「CUnet Information」の「Board No.」と「Line No.」を設定し、検査ボードのオープンを行います。
Board No. は複数枚使用する場合の番号 (0～) を設定します。
(拡張基板の場合、0 固定です。)
Line No. は一枚のボード (カード) に CUnet 通信 IC が複数ある場合の番号 (0～) を設定します。
(拡張基板の場合、0 固定です。)
- 3) 各種検査コマンドを実行する前に、「CUnet Information」の「Station Address」と「Station Size」を設定し、検査ボードのスタートを行います。
- 4) GM へ値をセットする場合は、GM View の変更したい部分をクリックして選択 (紺色に変化します) し、コマンドの [GM Set] ボタンをクリックして下さい。
- 5) GMM (モニター) モードへ入る場合は、コマンドの [GMM] ボタンをクリックしてください。「GMM View」が再描画されます。
- 6) メール機能を使用するには、Mail Send/Receive の「Send SA」と「Send Data Size」と「Send Data」を適切に設定し、コマンドの「M Send」ボタンをクリックして下さい。メールを受信する場合は、コマンドの「M Receive」ボタンをクリックして下さい。
- 7) メールのエージングを行う場合は、6) と同じように Mail Send/Receive を適切に設定し、各種コマンド欄の Aging タブにある [Start] ボタンをクリックして下さい。
- 8) レジスタ一覧画面を表示するには、コマンドの [Register] ボタンをクリックして下さい。
- 9) 検査を終了する場合は「Exit」ボタンをクリックして下さい。

このマニュアルについて

- (1) 本書の内容の一部または全部を当社からの事前の承諾を得ることなく、無断で複写、複製、掲載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容に関しては、製品改良のためお断りなく、仕様などを変更することがありますのでご了承下さい。
- (3) 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがございましたらお手数ですが巻末記載の弊社もしくは、営業所までご連絡下さい。その際、巻末記載の書籍番号も併せてお知らせ下さい。

77TLH0028A

2013年 9月 初版

 株式会社アルゴシステム

本社

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾656番地

TEL (072) 362-5067

FAX (072) 362-4856

東京支社

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-8
銀座堀ビル2F

TEL (03) 3541-7170

FAX (03) 3541-7175

大阪支社

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-12-3
船場グランドビル3F

TEL (06) 6263-9575

FAX (06) 6263-9576

名古屋営業所

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵2-3-15
ふぁみーゆ葵ビル503

TEL (052) 939-5333

FAX (052) 939-5330

ホームページ <http://www.algosystem.co.jp/>